

としょかん南アルプス

南アルプス市立図書館通信 No.15 2011年1月5日発行 <http://lib.m-alps.ed.jp>



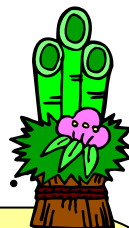
新年あけましておめでとうございます。

市立図書館では、本年も多くの皆様に利用していただけるよう、図書館サービスの充実に努めていきます。また、おはなし会や各種講座なども開催しますので、お気軽に図書館へお出かけください。

本年もよろしくお願いたします。

図書館で、すばらしい本との出会いを♪

地域の作家を紹介します！ No. 4



こまつ かん さん

1952年9月 長野県生まれ、県立巨摩高校、甲府看護専門学校卒業、中国衛生部医療気功師養成講座履修（北京）

〔現在〕

山梨県詩人会理事長、山梨文芸協会広報担当理事、乾季詩社、詩人会議、山梨五行歌の会所属。生涯学習インストラクターとして社会通信教育協会から「まなびの達人・あそびの達人」の認証を受けました。自己の創作活動を紹介した『裸心版』を作成して無料配布しています。

〔著書〕

『瑠璃色の光の行方』フジ出版、『瑠璃色のピアノシモ』涙工房、『こまつかん詩集』表現社、など



20代の頃から詩を書き、全国の詩友と手作りミニコミ紙の交流活動を展開しました。

30代には童話も創作し、一時『小さい旗』に所属しました。

現在は詩・五行歌・エッセイ・小説を中心に書いており『山梨の詩』『乾季』『詩人会議』『詩と思想』『コールサック』『イメージーション』『反戦反核平和詩歌句文集』などに執筆しています。

テーマは自然と心身の神秘・不思議に視点をあてたものや、男女の情愛や性愛をみつめた官能的なもの、反戦反核平和を扱った社会派のものなど多岐にわたっています。別の言い方をしますと「人間の内面と外面、生と性そして死」が主題ということになります。また、作品の会話・文体が甲州弁になっているのもいくつか発表し、自作品の朗読も行っています。

モットーは「詩は詩人だけのものではない」「詩的に素敵に生きよう」「息づく人の世の真実を書こう。時を超える言葉たちで・・・」。

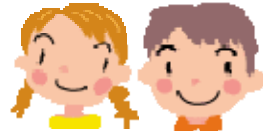


知ろう！図書館のこと！ No.4



図書館の本は どうやって選んでいるの？

2009年の新刊発行点数は、**78,555**点。(出版科学研究所データ)
本はどのようにして選書され、図書館の新着本の棚に並ぶのでしょうか？



①市立図書館の司書全員で本を選びます。

毎週出されている新刊案内リストや、利用者の皆さんから寄せられたリクエストなどを参考に、購入予定の本を選びます。また、各館の特色や図書館全体の蔵書構成も考えながら、足りない分野の本の補充もおこなっています。

②購入する本を決めます。

毎週木曜日に、市内5館の選書担当者が集まって、選書会議をおこないます。限られた予算の中で、多くの良い本が購入できるように話し合います。また、寄贈された本や冊子等の保存についても、話し合っ



③本を注文します。

選書会議で購入が決定した本の注文を、各館ごとに行います。



④本の登録をします。

注文してから、約2週間で本が届きます。届いた本を1冊1冊点検し、データを登録します。また、帯を貼るなどの装備をしたり、蔵書印を押したりして新着本の棚に置く準備をします。



★市内の図書館では、平日は毎日、土日はどちらか1日、メール便が市内図書館を回り、予約された本や各館に返却された本を運んでいます。どの図書館からでも取り寄せて借りることができますので、おいに利用してください。

雑誌について知ろう!



雑誌コーナー



雑誌は、最新情報を得るために欠かせない資料です。
南アルプス市の図書館では、さまざまな雑誌を見ることができます。

雑誌は、どのくらいの期間保存しているの？

櫛形図書館は3年保存、他の図書館は1年保存します。永年保存の雑誌もあります。職員にお尋ねください。

保存期間を過ぎた雑誌は、どうしているの？

市外の図書館に保存用として寄贈したり、年1回ブックリサイクル市を行い、利用者に提供したりしています。

雑誌の付録はどうしているの？

型紙等の付録は、雑誌に付けて貸し出しています。カレンダー等の付録は、貸し出しできないので、保存してあります。CD、DVDなどの付録も貸し出しできないので、保存してあります。CDは、館内で聞くことができます。

保存期間が過ぎた雑誌の付録は、どうしているの？

CD、DVDなどの付録は、ブックリサイクル市に雑誌と一緒に出します。カレンダー等の付録は、新年最初の開館日に利用していただいた方に提供しています。

雑誌は、予約できるの？

雑誌の予約もできるようになりました。最新号とその前号を除く雑誌の予約ができます。予約は、ひとり2冊までです。

市内で何種類の雑誌を、取っているの？

市内図書館合わせて、214種類の雑誌を見ることができます。最新雑誌以外のものは、貸し出しも行っていきますので、ご利用ください。



★「図書館講演会」が開催されます！

講師：上野千鶴子氏

演題：「家族持ちから人持ちへ

～おひとさまのネットワークづくり～」

日時：1月22日(土) 13:30～

場所：櫛形生涯学習センター あやめホール

※整理券が必要です。



撮影：岡戸雅樹

図書館メールマガジン 「ライライのつぶやき」より



図書館メールマガジン配信中です！

毎月1回月初めに、図書館の最新情報やイベント情報など、旬な情報をお届けしています。皆さんの登録をお待ちしています。4月から始まった新コーナー

「ライライのつぶやき その3」を紹介します。

ぼくは雷鳥のライライ！南アルプス市立図書館のキャラクターだよ。
ぼくが見た図書館の様子をおはなしするね。

実は今、ぼくにはとても心配なことがあるんだ。ぼくたちライチョウが絶滅危惧種だってこと知ってる？ライチョウは日本で唯一、高山帯にだけ生息する鳥なんだよ。強風が吹き荒れ、雪や氷におおわれた時期に高山の厳しい環境で暮らせるのは、ぼくたちライチョウだけなんだ。そして、南アルプス市の象徴である北岳は最南限の生息地なんだ。

でも、ぼくたちライチョウが棲んでいるところにたくさんの登山者が来たり、地球温暖化の影響でぼくたちのえさとなる高山植物も無くなってきたりしている。

このままじゃぼくたちも、もう南アルプスにも棲めなくなるかもしれない・・・。

ぼくたちが安心して暮らしていけるように、人間のみなさんには環境保護活動に積極的に取り組んで、貴重な自然を壊さないようにしてほしいな。ぼくからのお願いだよ！

(ライライ) 8月号より

毎年夏休みになると図書館には高校生がインターンシップでやってくるんだよ。今年も白根高校と増穂商業高校の生徒が、図書館の仕事を体験しにきてくれたんだ。カウンターで接客する高校生の姿を見かけた人も多いんじゃないかな？

カウンター業務のほかにも、事務作業をしたり、夏休みの子どもを対象にしたイベントのお手伝いをしたりしていたよ。イベントは「子ども俳句教室」「手作り絵本教室」「エコ工作教室」などたくさんあったんだけど、高校生は重い荷物を運んだり、会場の準備や片付けをしたり、工作に使うパーツを作ったりと、それぞれのイベントで大活躍していたよ。

初めての体験で緊張したりとまどったりしながらも、みんな一生懸命に仕事をしていた。なかには自ら率先して仕事をしていた生徒もいて、職員はとても感心していた。また、お客さんも、高校生が笑顔で貸し出ししてくれるので喜んでたよ。

図書館でのインターンシップを終えた生徒の感想で多かったものは、「思ったよりも大変だった」というもの。こんなにやることがあるのかとびっくりしたみたいだ。実は見えない部分でたくさんの仕事があるんだということに、インターンシップを通して気づいてもらえたよ。

高校生のほかにも中学生が1日職場体験をしたり、小学生が子どもボランティアに来たり、夏休み中の図書館は若い力で溢れていたんだ。子どもの頃から図書館の仕事に興味を持って来てくれる子がいて、ぼくはとってもうれしいな。イベントにもたくさんの参加があって、職員も喜んでたよ。これからもどんどん図書館を活用してね！

(ライライ) 9月号より

